

## 高尾山の自然



▲高尾山のカツラ林（裏高尾町）

高尾山は八王子市の西にある標高約599mほどの山ですが、自然林が広く残っているため、植物の種類が非常に多く、約1600種類の分布が報告されています。また、昆虫の種類も多く、約5000種に達するそうです。このため大阪の箕面山、京都の貴船山とともに、日本の昆虫の三大生息地として知られてきました。野鳥やほ乳類も、たくさんの種類が生息しています。動植物の宝庫である高尾山の自然について調べてみましょう。

## 植物が豊かな理由は？

大きく2つの理由があります。ひとつは高尾山全体が古くから信仰の対象となり、高尾山薬王院の寺領（お寺の持っている土地）として、森林が保護されてきたためです。現在は大部分が国有林となっており、昭和25年（1950）には都立高尾陣場自然公園、昭和42年（1967）には明治の森高尾国定公園に指定されて、大切に自然が保護されています。

そしてもうひとつは、高尾山が暖温帯と冷温帯のちょうど境目に位置しているために、両帯の植物が入りまじって生育し、このために種類が多いというものです。

## 3種類の天然林

高尾山の森林は、天然林（自然のままの林）と人工林（人間が植えた林）からなりたっています。人工林には江戸時代に植えられたスギなどがあります。天然林は、モミやアカマツなどの針葉樹（針のようにとがった葉を持つ木）の林、カシ類などの常緑広葉樹（一年じゅう葉が緑色をしているはばが広くて平たい葉を持つ木）の林、ブナなどの落葉広葉樹（冬になると葉が落ちる木）の林の3つに分かれています。また、山の上部では、北斜面に落葉広葉樹林、南斜面に常緑広葉樹林が見られますが、南北で対照的なこのようすは、高尾山の森林の特徴でもあります。

## 高尾山の天然林の主な分布

常緑広葉樹林	みなみがわしやめん 南側斜面・ きたがわしやめんかぶ 北側斜面下部	カシ類（アカガシ・ツクバネガシ・ウラジロガシ・アラカシ・シラカシ）・ヤブツバキ・シロダモ・カゴノキ・サカキなど
落葉広葉樹林	北側斜面上部	イヌブナ・ブナ・アサダ・オオモミジ・アカシデなど
針葉樹林	おね 尾根 (山の頂上から頂上へと続いている部分)	モミ・アカマツ・カヤなど

## たくさんの植物

このように、いろいろな林からなっている高尾山には、それぞれの環境に<sup>かんきょう おう</sup>応じてたくさんの植物が生育しています。それらのなかにはタカオスミレ・タカオヒゴダイ・タカオイノデなど、高尾山で<sup>さいしよ</sup>最初に発見されたところからその名前がつけられたものも少なくありません。これらの植物は<sup>きせつ</sup>季節に<sup>すがた</sup>応じていろいろな姿を見せ、私たちを楽しませてくれます。

## ゆた せいたいけい 豊かな生態系

いろいろな林があって、植物の種類が多いということは、それだけ、そこにすむ動物の種類も多いといえます。高尾山には昆虫たちのエサとなる草や木がたくさん用意されているので、いろいろな種類のチョウやトンボなどがすんでいます。

また、<sup>かんさつ</sup>観察しやすく、数も多いのが<sup>やちよう</sup>野鳥です。高尾山で<sup>きろく</sup>記録された野鳥は100種類以上にものぼり、東京都でも代表的な探鳥地<sup>たんちようち</sup>として知られています。ほ乳類では、キツネ・タヌキ・アナグマ・テン・ムササビなど30種近くの生息が確認されていますが、<sup>こたいすう</sup>個体数が少なかったり、<sup>やこうせい</sup>夜行性だったり、私たちの目の前にはあまり姿を見せてくれません。それでも、<sup>あしあと</sup>足跡や<sup>ふん</sup>糞などからすんでいることはわかります。

## 高尾山に登ってみましょう

高尾山には、<sup>ほうふ</sup>豊富な自然を観察するために、1～6のテーマ別の<sup>しぜんけんきゆう</sup>自然研究路のほか、各登山コースが<sup>せいび</sup>整備されています。

- 1号路：高尾山の自然
- 2号路：高尾山の植物
- 3号路：高尾山の森
- 4号路：森と動物
- 5号路：人と自然
- 6号路：森と水
- 稲荷山コース
- 高尾山・陣馬山コース



(▲ 高尾山公式ホームページより)

<sup>きょうみ</sup>興味のあるテーマを見つけて、<sup>じっさい</sup>実際に登ってみて、高尾山の自然を体で感じてみませんか？

## 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

\*最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類（ラベル）番号です。

\*☆印のついてるものは、特に小学生におすすめのものです。

☆21-29 郷土みてある記 八王子市生活文化部広報課／編 1995年  
小学校の先生が、八王子の歴史や、関係の人物や動・植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説。

☆21-40 山の自然教室 小泉武栄／著 2003年  
気軽に登れる高尾山から日本アルプスの山々まで、地形・地質、高山植物などバラエティーに富んだ自然の宝庫をガイドする。

21-40 高尾山と多摩丘陵 ネイチャーワーク企画編集室／著 2002年  
高尾山・陣馬山周辺、多摩丘陵に残る里山の自然を紹介。

☆21-46 高尾山自然観察ガイド 茅野義博／著 2005年  
高尾山の動植物が、たくさんの写真とともに紹介されている。「これなんだかわかる？」といったクイズもあり、たのしく学べる一冊。

☆21-47 高尾山花と木の図鑑 菱山忠三郎／著 2001年  
高尾山を代表するような植物を紹介。写真が豊富でわかりやすく、また、高尾山固有の植物については別項を設けて紹介している。

21-47 高尾山自然観察手帳 新井二郎／著 2009年  
高尾山の動植物、気象、歴史をわかりやすく紹介。

インターネット情報 高尾山公式ページ

<http://www.takaotozan.co.jp/>

高尾山ビジターセンター

<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

高尾山の自然

**参考文献を所蔵している図書館 ※2015年12月現在**

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館					
	中央	生涯	南大沢	川口	北野	みなみ野
郷土みてある記	△	△	△	△		
山の自然教室	○	○	○	○		
高尾山と多摩丘陵	○	△	○			
高尾山自然観察ガイド	○	○	○	○	△	
高尾山花と木の図鑑	○	○	○	○		
高尾自然観察手帳	○	○	○	○	△	